

原材料等仕入れ価格の高騰が継続、収益を圧迫

ガソリン補助金縮小、コロナ関連融資返済開始など経費負担増加を懸念

～景況DI値は、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス21.1～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 11月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI値前月比36.8ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比15.7ポイント上昇のプラス5.2。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のプラス15.7、前年同月比5.3ポイント低下のプラス21.0。

販売(受注)価格 製造業では、DI値前月比0.1ポイント低下のプラス5.2、前年同月比15.8ポイント低下のプラスマイナス0。非製造業では、DI値前月比21.1ポイント上昇のプラス42.1、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス57.9。

収益状況 製造業では、DI値前月比15.8ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比15.9ポイント上昇のプラス21.1。

資金繰り 製造業では、DI値前月比10.6ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比0.4ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比同水準のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス10.5。

雇用人員 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス5.2、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス21.0。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。

景況 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比同水準のマイナス36.8。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス5.2。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比2.6ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比2.7ポイント低下のマイナス21.1となった。製造業では、一部業種で需要の落ち込みを価格転嫁により対応したものの、依然として原材料、光熱費等の高止まりが継続しており、収益状況は前月比、前年同月比ともにマイナスで推移するなど厳しい状況が続いている。非製造業では、11月は松葉ガニ漁解禁に伴い鮮魚関係を取り扱う卸売業、観光関連や旅館業を中心に売上高、収益状況は大きく好転した。県内景況は、全業種で原材料等仕入れ価格の高騰が続いているうえ、燃料価格においてはガソリン補助金の縮小も予定されており、運送に関連する業種はさらなる輸送コストの上昇が懸念される。また、翌年には鳥取県の新型コロナ関連の融資返済開始を控えており、さらなる経費負担増加による収益の圧迫が懸念される。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

11月の全国倒産は、件数834件で、(前年同月773件、7.9%増)と、31カ月連続で前年同月を上回った。11月としては2013年(820件)以来の800件超えとなった。2024年1-11月の累計件数は9053件となり、年間件数は12月の1か月分を残して2015年以降で最も多くなった。負債総額は1522億4400万円(前年同月881億5000万円、72.7%増)と、4ヵ月ぶりに前年同月を上回った。

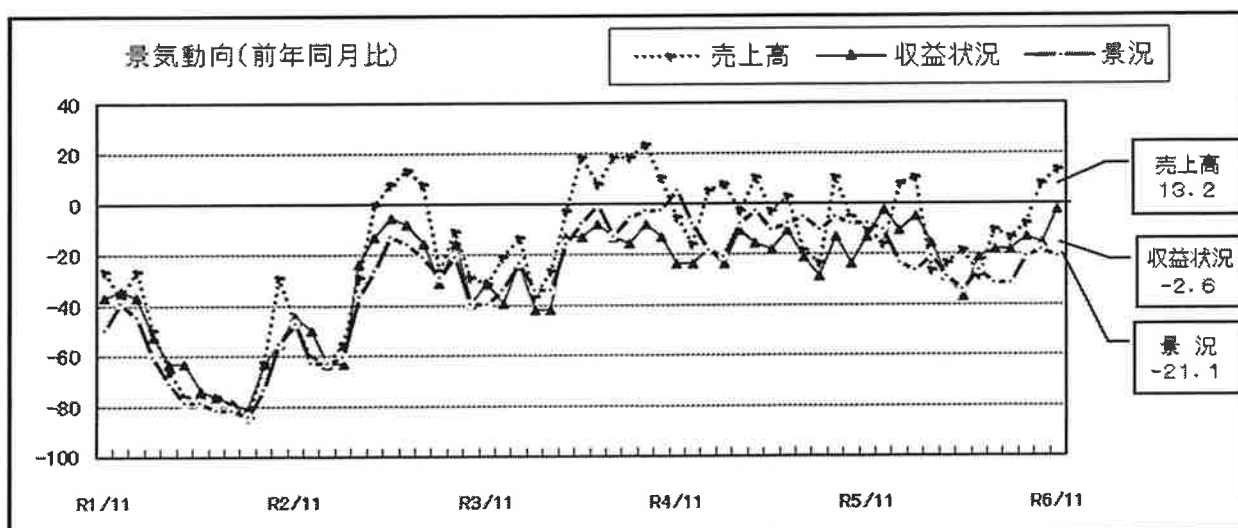
一方、11月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数5件(前月4件)、負債総額は12億5700万円(前月2億1000万円)で、業種では、建設業、製造業、小売業、不動産業、サービス業、主因はいずれも販売不振となっている。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報10月分」)

鳥取県の10月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.28倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.25倍)で、前月より0.03ポイント上回った。各所別有効求人倍率(原数値)では、鳥取所1.18倍、米子所1.44倍、倉吉所1.28倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.36倍(季節調整値)で、前月より0.01ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比2.2%増加し、有効求人数は4.5%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、公務・その他(29.0%)、建設業(10.7%)、医療・福祉(8.8%)、宿泊業・飲食サービス業(4.3%)、卸売業・小売業(0.1%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比9.7%減少、有効求職者数は前年同月比1.3%減少となった。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.15倍で、前年同月比で0.07ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ0.8%増加した。



前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	21.1%	31.6%	-10.5 -36.8	36.8%	21.1%	15.7 -5.3	28.9%	26.3%	2.6 -21.1
(2)在庫数量	21.1%	5.3%	15.8 15.8	16.7%	8.3%	8.4 8.4	19.4%	6.5%	12.9 12.9
(3)販売価格	10.5%	5.3%	5.2 -0.1	47.4%	5.3%	42.1 21.1	28.9%	5.3%	23.6 10.4
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 -5.3	5.3%	0.0%	5.3 5.3	2.6%	0.0%	2.6 0.0
(5)収益状況	5.3%	47.4%	-42.1 -15.8	31.6%	10.5%	21.1 10.6	18.4%	28.9%	-10.5 -2.6
(6)資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -10.6	15.8%	0.0%	15.8 0.0	7.9%	10.5%	-2.6 -5.3
(7)設備操業度	5.3%	10.5%	-5.2 -10.5						
(8)雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 0.0	5.3%	0.0%	5.3 5.3	5.3%	5.3%	0.0 2.7
(9)景況	5.3%	42.1%	-36.8 -10.5	26.3%	10.5%	15.8 15.8	15.8%	26.3%	-10.5 2.6

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	36.8%	31.6%	5.2 15.7	42.1%	21.1%	21.0 -5.3	39.5%	26.3%	13.2 5.3
(2)在庫数量	15.8%	15.8%	0.0 15.8	25.0%	0.0%	25.0 8.3	19.4%	9.7%	9.7 12.9
(3)販売価格	15.8%	15.8%	0.0 -15.8	57.9%	0.0%	57.9 15.8	36.8%	7.9%	28.9 0.0
(4)取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	10.5%	10.5%	0.0 10.5	5.3%	7.9%	-2.6 8.0
(5)収益状況	10.5%	36.8%	-26.3 10.6	31.6%	10.5%	21.1 15.9	21.1%	23.7%	-2.6 13.2
(6)資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 0.4	15.8%	5.3%	10.5 5.2	10.5%	10.5%	0.0 2.6
(7)設備操業度	15.8%	10.5%	5.3 5.3						
(8)雇用人員	5.3%	26.3%	-21.0 0.1	5.3%	5.3%	0.0 -5.3	5.3%	15.8%	-10.5 -2.6
(9)景況	0.0%	36.8%	-36.8 0.0	21.1%	26.3%	-5.2 -5.2	10.5%	31.6%	-21.1 -2.7

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 大型店向けの商品や輸出向けの商品が好調となり売上は増加し、収益状況も好転した。年末にかけて鶏卵の値上がりが懸念される。

醤油 ⇒ 業界全体としては数量の落ち込みを製品の値上げで対応しており、金額的にはほぼ前年並みで推移している。インバウンドの拡大による味噌・醤油等の調味料への波及効果は見受けられない。

【繊維工業】

繊維製品 ⇒ 業界内でも順調に売上を伸ばすメーカーと苦戦するメーカーの差が現れてきた。売上高は前月比、前年同月比ともに横ばいで推移した。

ニット製品 ⇒ 食料品をはじめとする物価の値上がりにより家計の衣料品消費枠は細っており回復の兆しは見られない。春夏物の発注の動きも鈍く、国内メーカーは受注量の確保に苦慮している。

【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。

【木材・木製品】

製材品 ⇒ 製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに減少、製材品、合板の生産量は前月比で微増となった。製材品については年末年始に向けて物件を持っている業者の手当もあるが、主に当用品の手当が続いており実際の需要は弱い業況。需要を増やす取組みとして木材利用の拡大を主な目的とした来年4月施行予定の建築基準法改正において、JAS材等の供給の協力体制を構築することが挙げられる。プレカット加工の稼働率は前月比50%減少、前年同月比は140%増加で推移した。

【紙・加工品】

和紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で増加となった。業況は引き続き厳しい。

【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、データ作成の需要増加に伴い効率化が進む一方、紙媒体依存が減少し、大ロット印刷需要が減少している。特に地方自治体案件でデジタル配布が増加しており、価格転嫁が困難なうえ、人件費増加が課題となっている。IT化や柔軟な働き方への対応が求められ、年度末に向けた収益向上策が重要となっている。また、紙の仕入れ価格は12月以降約15%程度上昇しており、業界全体として価格転嫁への対応が課題となっている。

【窯業・土石製品】

生コン ⇒ 11月の生コン出荷量は、前月比で約15%減少、前年同月比で約30%増加となった。東部地区では依然昨年夏の豪雨に係る災害復旧工事案件が多く見受けられるが、少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見

合っていない。中部地区では前年割れが続き低調に推移していたが、9月以降3か月連続で前年同月比を上回る動きを見せた。西部地区でも受注は年度当初低調であったが、9月以降3か月連続で前年同月比を上回る動きを見せた。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は少なくなっている。今後の物件も少なく、厳しい状況が続いている。機械加工は、自動機関連の案件で凌いでいるものの、自動車関連の受注は少なく、工作機械関係についても相変わらず厳しい状況が続いている。電炉メーカーは、価格据置きとしたが、建設需要は低調で鋼板需要も回復には至っておらず、引き続き国内外の需給動向を注視する必要がある。

鉄骨加工⇒ 県内各社の見積物件は少ない状況が続いており年末から年度末において新規工事量の受注は期待できない。建設費用高騰により計画工事の予定や設計概算見積等において中断、再考する状況が続いていて需要に陰りが見受けられる。

金属熱処理⇒ 各社の状況は引き続き厳しいが、一部で航空機、エネルギー関連に若干受注増の動きが見られる。全体的に金属加工業界は良い状態ではなく、12月以降も見通しは厳しい。結果として金属熱処理業界も厳しい状態にある。電力をはじめとするエネルギーや副資材の価格は高止まりが続いており、収益確保に苦慮している。

【電気機械器具】

⇒ 依然業界は低迷したままである。年内の回復は見込まれず、年度内の回復も不透明なままである。設備投資も低迷しているうえ、人材不足は深刻化している。賃金の上昇は避けられず、原価の上昇により利益確保が困難な状況となっている。部材も前月まで調達できていたが、一部部材の納期遅れで生産に影響が出ている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、前月比では季節的な要因もあり取扱数量は減少したものの、売上高は単価の上昇により減少幅は抑制された。前年同月比では、取扱数量は果実の停滞により減少で推移したものの、売上高は単価の上昇により大幅に増加となった。鮮魚関係では、松葉ガニ漁の解禁により前月比では売上高、取扱数量ともに大幅に増加している。前年同月比では、取扱数量は大幅に増加しているものの、売上高は単価の低下により増加幅が少なくなっている。

中部地区⇒ 来年よりOA機器、備品、消耗品の値上がりについて各メーカーから発表があった。民間企業の動きが停滞することが懸念される。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金融機関の貸出の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。

水産物⇒ 巻き網は時化も多く稼働日数が少ない月となったが、前月に続き小型のマ

イワシの水揚げにアジ、ハマチ等も加わり、前年同月比を大きく上回る水揚げとなった。良質なイワシの一部は煮干し原料向け、ハマチも輸出向けとして一定の評価で推移した。11月から解禁となった松葉ガニの雌ガニは例年になく豊漁であったものの、時化の影響もあり雄ガニは十分な供給とはならなかった。紅ズワイガニは鮮魚用の上物は高値で推移したものの、加工用は安価な輸入製品が潤沢にあることから落ち着いた浜値となった。

リサイクル原料⇒ ペーパーレス化により古紙の発生が減少している。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、11月は街区で定例の「鳥取市木のまつり」が開催され親子連れなどで賑わいを見せた。3連休もあり宿泊、観光関連の需要は順調に推移したものの、地元の需要を主とする小売、飲食関連は低調となった。引き続き原材料高等の仕入れ価格に加え、光熱費上昇、原油高、最低賃金の上昇に伴う人件費負担の増加により状況は厳しさを増している。一向に消費マインドは停滞したままであり、改善の兆候は見受けられない。経費負担の増加に加えて特例で据え置きとなっていたコロナ融資の返済が来年から始まるなど先行き不透明な状況が懸念される。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、11月はイベントがなく人流も落ち着き静かな月となった。近隣の白壁土蔵群にはインバウンド客が見受けられたが滞在時間は短く、近隣のスーパーやドラッグストアに流れている。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、11月は大きなイベントもなく、人の動きも少なかった。売上高などに関しては、前月、前年同月比で大きな増減はなくほぼ横ばいで推移した。

境港市の水産物小売では、11月に入り松葉ガニのシーズンが始まったことにより来場者が大きく増加した。前年の同時期と比較しても観光客の増加は顕著となった。インバウンドについても復調の兆しが見られ、中国、韓国からの観光客が目立っていた。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、天候も安定したこともあり一般観光客、観光バスの入込数は増加し、売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。

米子市のホテル・旅館では、日帰り20～30人の団体客が見受けられ、宿泊者についても増加した。原材料費、燃料費等が高騰しているものの、価格への転嫁ができています。人材確保面では、依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、最盛期を迎え、前年同月と比較して入込数が増加した。インバウンド客について、チャーター便もあり増加となった。12月以降は雪の状況による影響に注視が必要となる。

羽合温泉では、11月の宿泊は前月比、前年同月比ともに微増となった。宿泊状況としてはカニシーズンが到来し県外客が多く訪れている。また、台湾からのチャーター便もあり、国外からの来客が宿泊の後押しとなった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて2,141台で前月比は普通車11.4%、軽自動車0.5%の減少、前年同月比は普通車0.2%の増加、軽自動車16.7%の減少であった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて599台で前月比6.1%、前年同月比3.2%の減少であった。継続検査（軽自動車を含む）は14,460台で前月比6.3%、前年同月比0.5%の減少であった。

【建設業】

⇒ 10月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額105億円(前年同月比6.0%減)、件数218件(同19.8%増)となった。年度累計(令和6年4月~令和6年10月)は、請負金額721億円(前年同月比10.0%増)、件数1,335件(同13.9%増)となった。公共投資は単月では2か月連続の前年同月比マイナスも、年度累計ではプラスが続く。設備投資は単月、3か月平均ともに前年同月比マイナスとなった。住宅投資は単月では前年同月比マイナス、3か月平均はプラスが続いた。深刻な人手不足により専門人材の確保ができない中、時間外労働規制も重なり新規受注に影響をきたしている。

10月の鳥取県新設住宅着工戸数は159戸(持家116戸、貸家43戸)で、前月比13%減少、前年同月比15%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 11月の物流は、製造業、建設建築関係の輸送量や農作物の出荷量も順調で、全体の輸送量としては良好な動きとなった。荷物の不足傾向は徐々に解消され運行の効率は改善されてきている。売上高は、前月比、前年同月比ともにさほど変化はないが、燃料価格や人件費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、慢性的なドライバー不足の問題もあって、今後も厳しい状況に変わりはない。特に、ガソリン補助金が12月19日より段階的に縮小されることが決定し、さらなる追い打ちをかけることが懸念される。

西部地区⇒ 11月の燃料価格については若干減少となったが、12月より政府補助金が段階的に縮小され、12月は5.0円、来年1月はさらに5.0円燃料価格変動以外の価格上昇となる。農繁期による出荷がピークを迎えているが、今年は農家の後継者不足、カメムシ被害による全体的な出荷量減少により大きく配送料は減少、コロナ融資による返済資金も圧迫、人手不足と極めて厳しい状態が続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・業界全体のデジタル変革を推進する政策的支援を求める。【印刷業】
- ・電気料金の値下げを望む。【金属熱処理業】
- ・景気対策として消費税減税、社会保障関連の負担軽減を図る政策を打ち出して欲しい。【商店街】
- ・地域活性化に対する支援を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
売上高	製造業	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	-36.9	42.0	26.3	-10.5	0.0
	非製造業	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	31.5	-47.3	21.0	15.7	-15.9
	全業種	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	-2.6	-2.6	23.7	2.6	-7.9
在庫数量	製造業	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	-10.5	5.3	0.0	15.8	21.0
	非製造業	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	16.7	-25.0	0.0	8.4	8.4
	全業種	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	0.0	-6.4	0.0	12.9	16.1
販売価格	製造業	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	10.5	10.5	5.3	5.2	10.5
	非製造業	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	26.3	5.3	21.0	42.1	0.0
	全業種	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	18.5	7.9	13.2	23.6	5.2
取引条件	製造業	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.2
	非製造業	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.3	5.3
	全業種	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	-2.6	-2.6	2.6	2.6	5.3
収益状況	製造業	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	-36.8	-15.8	-26.3	-42.1	-26.3
	非製造業	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	21.0	21.0	10.5	21.1	-5.2
	全業種	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	-7.9	-18.4	-7.9	-10.5	-15.7
資金繰り	製造業	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-21.1	-15.9
	非製造業	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	15.8	-10.5	15.8	15.8	5.3
	全業種	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	5.3	-7.9	2.7	-2.6	-5.2
設備操業度	製造業	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-31.5	0.0	5.3	-5.2	5.3
雇用人員	製造業	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2	5.3
	非製造業	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0
	全業種	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-2.6	-10.6	-2.7	0.0	2.7
景況	製造業	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-21.0
	非製造業	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	0.0	-21.1	0.0	15.8	0.0
	全業種	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	-13.1	-23.7	-13.1	-10.5	-10.5

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
売上高	製造業	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	-47.4	-21.1	-10.5	5.2	31.5
	非製造業	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	21.1	5.3	26.3	21.0	15.8
	全業種	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	-13.2	-7.9	7.9	13.2	23.7
在庫数量	製造業	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-15.8	-21.0	-15.8	0.0	26.3
	非製造業	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7
	全業種	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	0.0	-9.6	-3.2	9.7	22.6
販売価格	製造業	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	26.3	15.8	0.0	-5.3
	非製造業	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	42.1	36.8	42.1	57.9	5.3
	全業種	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	21.1	31.6	28.9	28.9	0.0
取引条件	製造業	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	15.8
	非製造業	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	-5.2	0.0	-10.5	0.0	10.5
	全業種	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	-7.9	-7.9	-10.6	-2.6	13.2
収益状況	製造業	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	-42.1	-26.3	-36.9	-26.3	0.0
	非製造業	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	0.0	5.2	21.1	21.1
	全業種	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	-18.4	-13.2	-15.8	-2.6	10.5
資金繰り	製造業	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	-26.3	-15.8	-10.9	-10.5	5.3
	非製造業	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	-10.5	5.3	5.3	10.5	21.0
	全業種	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	-18.4	-5.2	-2.6	0.0	13.1
設備操業度	製造業	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	-31.6	0.0	-5.3	0.0	31.6
雇用人員	製造業	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	-15.8	-31.5	-21.1	-21.0	-10.5
	非製造業	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	5.2	5.2	5.3	0.0	15.8
	全業種	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	-5.3	-13.2	-7.9	-10.5	2.6
景況	製造業	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-15.8
	非製造業	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	0.0	-5.2	-10.5
	全業種	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-31.6	-21.0	-18.4	-21.1	-13.2

情報連絡員報告総括表(令和6年11月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0		
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	0	3	0	0	0	1	2		
製 木材・木製品	2	0	2	1	3	0	0	4	0	0	4	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	1	2		
造 紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1		
出版・印刷	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1		
化学ゴム																														
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1		
鉄鋼・金属	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1		
業 一般機器	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0		
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0		
輸送用機器																														
その他	19	4	9	6	4	14	1	2	16	1	0	19	0	1	9	9	4	1	16	2	1	16	2	1	16	2	1	10	8	
100%	21.1%	47.4%	31.6%	21.1%	73.7%	5.3%	10.5%	84.2%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	47.4%	47.4%	21.1%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	52.6%	42.1%	
非 卸売業	0	4	2	0	5	1	2	4	0	0	6	0	0	5	1	1	5	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0	1	5	0
小売業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
商店街	1	3	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0
サービス業	4	0	1				4	1	0	1	4	0	4	0	1	2	3	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	2	2	1
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
運輸業	0	1	1				0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1
その他																														
19	7	8	4	2	8	1	9	9	1	1	18	0	6	11	2	3	16	0	0	0	0	1	18	0	5	12	2			
100%	36.8%	42.1%	21.1%	16.7%	66.7%	8.3%	47.4%	47.4%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	31.6%	57.9%	10.5%	15.8%	84.2%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	26.3%	63.2%	10.5%
38	11	17	10	6	22	2	11	25	2	1	37	0	7	20	11	3	31	4	1	16	2	2	34	2	6	22	10			
100%	28.9%	44.7%	26.3%	19.4%	71.0%	6.5%	28.9%	65.8%	5.3%	2.6%	97.4%	0.0%	18.4%	52.6%	28.9%	7.9%	81.6%	10.5%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	57.9%	26.3%	

情報連絡員報告総括表(令和6年11月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製 造	食料品	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0		
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1		
	木材・木製品	2	0	2	1	3	0	0	3	1	0	4	0	1	2	0	3	0	0	3	1	0	3	1	0		
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0		
	出版・印刷	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1		
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1	0	0	2		
	一般機器	2	1	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0		
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
輸送用機器																											
その他																											
非 製 造	卸売業	3	3	0	1	5	0	3	3	0	1	5	0	2	4	0	1	5	0	0	6	0	1	5	0		
	小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0		
	商店街	1	2	1	1	3	0	2	2	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	2	2		
	サービス業	3	1	1				4	1	0	1	3	1	1	3	0	2	3	0	1	3	1	2	2	1		
	建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1		
	運輸業	0	1	1				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1		
	その他																										
	19	8	7	4	3	8	0	11	8	0	2	15	2	6	11	2	3	15	1	1	17	1	4	10	5		
	100%	42.1%	36.8%	21.1%	25.0%	66.7%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	10.5%	78.9%	10.5%	31.6%	57.9%	10.5%	15.8%	78.9%	5.3%	5.3%	89.5%	5.3%	21.1%	52.6%	26.3%		
	38	15	13	10	6	21	3	14	21	3	2	33	3	8	21	9	4	30	4	2	30	6	4	22	12		
100%	39.5%	34.2%	26.3%	19.4%	67.7%	9.7%	36.8%	55.3%	7.9%	5.3%	86.8%	7.9%	21.1%	55.3%	23.7%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	57.9%	31.6%			